



## ダイワボウ情報システム

### テーマは「ICTで“つなぐ”伝統と革新」 「DISわあるどin北陸かなざわ」を開催



DISグループの総力を結集

ICT、IoTなど、最新のテクノロジーを紹介する総合イベント「DISわあるど」。今回は「DISわあるどin北陸かなざわ」と銘打って、7月18日から19日までの2日間、石川県金沢市の石川県産業展示館で開催いたしました。地域との融合を図り「ICTで“つなぐ”伝統と革新」をテーマに設定し、融和が難しいと思われがちなICT商品と伝統・歴史についてエンドユーザーとメーカーとの情報交換、テクノロジー、ソリューションの確認の場として開催しました。会期中は約180社の企業・団体によるブース展示を行

い、約3400名の来場者がありました。

パネルディスカッションでは、テーマに則して北陸地域が抱える産業の課題にICTを利活用し、いかに解決するかを目的として実施いたしました。インテル社やPFU社を始め、EIZO社、アイ・オー・データ機器社など北陸地域の先進的な取り組みを行っている企業の方にご登壇いただき、“ものづくり”と“生産性向上”それぞれの課題に対して取り組みの発表や、一般社団法人クラウドサービス推進機構の松島桂樹代表理事、北陸先端科学技術大学院大学

の敷田麻実教授のモデリングによりディスカッションが開催され、聴講者に非常に好評をいただきました。

また、特別講演では、シスコシステムズ「地方適合型スマートシティ」やNEC「RPAソリューション」などについての講演が開かれ、来場者に幅広い最新ソリューションを紹介することができました。このテーマや取り組み内容については、自治体や地元団体からの共感も大きく、石川県、金沢市、石川県情報システム工業会（ISA）、石川県繊維協会、北國新聞社など幅広いご後援を頂戴しました。

今回は非常に広い会場で実施することができ、そのスペースを生かして特別ブースと呼ばれる大型ブースの設置や、入り口付近に設置した企画コーナーで実際にICTを体験できるスペースを用意し、来場者の注目を集めました。また、ダイワボウ情報システム（DIS）全社イベントの新しい試みとして、2日間の展示会形式にとどまらずDISわあるどのWEBイベントも1カ月間同時開催し、会場にお越しいただけなかったお客様に対してセミナー内容や展示物に関する情報を提供し、前述のパネルディスカッションの様子も動画でWEB公開をしています。

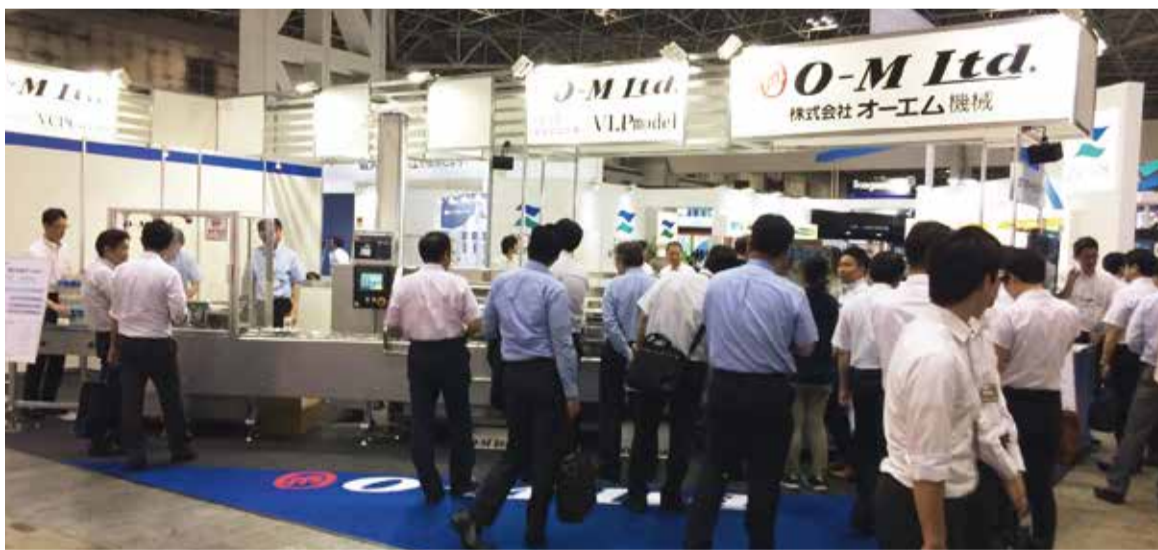
今後も、ダイワボウ情報システムは、販売店・エンドユーザー・メーカーをつなぐと同時に、“地域密着”の理念に基づき、地域の課題に向けたICT、IoTの活用提案を行っていきます。



## オーエム機械

### IoT対応機種などを提案

### 「第31回インターフェックスジャパン」に出展



新機能への関心は高い

オーエム機械は6月27日から29日の3日間、東京ビッグサイトで開かれた「第31回インターフェックスジャパン」に出展しました。インターフェックスジャパンは医薬・化粧品・化学製品などの製造・研究開発のためのあらゆる機器・機械・容器・検出システムなどのメーカーや受託製造医薬品会社が出展しており、医薬品業界における世界有数の展示会となっています。今回は

1366社が出展し、総来場者数は3万6000人を超えました。オーエム機械のブースには328名のお客様が来場され、その場での商談が進みました。

今回出展しました機械は、VCPC140型カートニングマシンと、VLP型印字ユニット装置です。今回はダイワボウグループのディーアイエスソリューションとの協業で、IoT対応機能として、「スマートモニタ

リング」と「スマートアシスタント」を装備した機械を展示しました。

「スマートモニタリング」機能は、機械の主要箇所にカメラを設置し、稼働状況を画像データとして取り込み、万一のトラブルや市場クレームが発生した際、その画像データを基に要因分析が行えるというシステムです。機械の上部からは360°モニターを設置したことで、オペレーターの作業状況の確認が可能となり、効率的な作業の改善分析に使用することができます。

「スマートアシスタント」機能は、機械診断が必要な時に、ユーザーがタブレットやスマートフォンを操作して、オーエム機械のコールセンターとライブ画像を共有しながら、状況に応じた説明や作業指示が行えるというものです。これまでは、オーエム機械のサービスマンが出張しなければできなかった機械診断を、お客様に協力いただくことで、離れた場所に居ながら問題に対して素早く対応出来る機能です。来場いただいたお客様にも非常に興味を持っていただき、包装機のIoT対応として、新しい提案ができました。

今回の展示会も大変多くのお客様にご来場いただくことが出来ました。当社は展示会での出会いを大切にして、機械を通して社会に貢献することを目指します。